

芳川地区の現状

芳川地区は、ほぼ平坦な地勢にあり、JR東日本篠ノ井線、それと並行する国道19号線、環状高家線などの幹線道路、長野道塩尻北インターチェンジなどにより移動に支障が少なく、周辺的生活関連店舗、医療機関が充実しているため住みやすい地域になってきてます。

生活圏

- 芳川地区生産年齢人口：10,956人（63.7%）
- 松本市生産年齢人口：140,624人（59.0%）

R2.10.1現在

宅地造成が進んだことにより、松本市全体と比較すると生産年齢人口（15～64歳）が多くなっています。
特に若い世代の増加により、年間出生数は市内で一番多い地区です。

強み

モデル地区 芳川への取り組みへ

- 65歳以上：3,807人（22.1%）
- 75歳以上：2,084人（12.1%）

R2.10.1現在

芳川地区は低い高齢化率ですが、市内で4番目に高齢者人口の多い地区です。
現在、健康体操、有償ボランティア、出張ふれあい健康教室、各町会サロンなどが、活発に行われています。

現在

課題

- 若い世代は地域課題に取り組むきっかけがありません。
- 新たな住民が地域に入り活動しやすくするための場づくり、働き世代、子育て世代などが、地域づくりに興味を持ち参画しやすくする仕組みづくりが必要です。
- 若い世代から掘り起こされた地域課題を、解決、発展に向けて主体的に取り組む活動への支援が必要です。

芳川地区の取組み

既存事業

町会連合・地域づくり協議会等 既設団体

- ・地区事業実施
- ・地区課題の情報整理、共有、解決

既存財源：850,000円

- ・高齢者向けレクリエーション
- ・子ども交流事業
- ・体育大会
- ・平和祈念式典
- ・地区総合防災訓練
- ・文化祭
- ・敬老の日行事
- ・新年交流会
- ・地域づくり学習会 等

経験・知識

若い世代からの課題提起

地域の発展

モデル地区事業

任意住民団体・グループ等

- 「地域づくり協力隊」若者を中心とした組織の立上げ

↓

若者組織の自立
地域キーパーソンの育成

地域活性化に向けた事業支援

↓

新たな地域力の掘り起し

新規財源：850,000円

芳川地区地域づくりセンター

・既設団体、任意住民団体・グループ等
コーディネート

住みよく幸福感のある街、地区への誇りと愛着を持てる街へ